



両面ガラス144ハーフカットセルモジュール

144ハーフカットセル 多結晶モジュール

340-355W
出力範囲

17.5%
最大変換効率

0~+5W
出力許容公差

トリナ・ソーラーは、太陽光エネルギーのトータルソリューションの世界有数のプロバイダーです。1997年の創立以来100以上の国と地域に事業を展開しています。

当社は、太陽電池モジュール、蓄電システム、スマートPVシステムおよびスマートO&Mの開発と共に、プロジェクト開発、資金調達、設計、施工、建設、O&Mなどのための独自のシステム統合ソリューションをお客様に提供しています。2018年末までに、世界中で40GW以上の太陽光発電モジュールを出荷し、2GWのソーラープロジェクトを世界中の送電網に接続しました。

トリナ・ソーラーは、2018年にエネルギーのIoT(モノのインターネット)ブランド„Trina IoT”を立ち上げ、この分野のグローバルリーダーになるべく全力で取り組んでいます。

トリナ・ソーラー・ジャパン株式会社
〒105 6121 東京都港区浜松町2丁目4番1号
世界貿易センタービル21F
www.trinasolar.com/jp

総合的な製品とシステム認証

IEC61215/IEC61730/UL1703/IEC61701/IEC62716

ISO 9001: 品質マネジメントシステム

ISO 14001: 環境マネジメントシステム

ISO14064: 温室効果ガス放出検査

ISO45001: 労働安全衛生マネジメントシステム



- ハーフカットセル技術で355Wまでの表面出力と17.5%のモジュール変換効率を実現し、BOS(周辺機器コスト)を削減
- 並列回路構成による電気抵抗の低減により、高出力を確保



高信頼性

- セル製造プロセスとモジュール材料の最適化により、PID(電圧誘起出力劣化)耐性を確保
- 塩、酸及びアンモニアに耐性あり
- 高温高湿地域での信頼性を証明
- 火災等級Aに適合
- マイクロクラック及びスネイルトレールの発生を最小限に抑制
- 5400Pa正面(積雪、風)荷重と2400Pa背面(風)の荷重性能



高い発電量

- セル製造プロセスとモジュール材料の最適化により、第三者試験機関が優れたIAM(入射角変更因子)と低照射特性を評価
- 低いINMOT(公称モジュール動作温度)により発電量を増加させ、結果LCOE(均等化発電原価)を削減
- 並列回路構成により影の影響を低減し、動作温度も低減



従来通りの設置方法

- フレーム付きデザインなので、従来工法で架台への取付が可能
- 通常のフレーム付きモジュール同様、運搬の取扱が容易

トリナ・ソーラーのDUOMAX出力保証

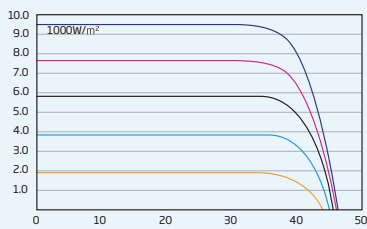


2年目から30年目まで、平均年出力劣化は0.5%未満

	340	345	350	355
	37.5	37.7	37.9	38.1
	9.06	9.15	9.23	9.32
	46.2	46.4	46.7	47.0
	9.53	9.62	9.71	9.81
	16.8	17.0	17.3	17.5

	257	261	265	269
	35.5	35.7	35.9	36.1
	7.24	7.31	7.37	7.45
	43.5	43.7	44.0	44.2
	7.69	7.76	7.83	7.91

	多結晶
	144 セル (6 × 24)
	26.0 kg
	EVA



	41°C (±3°C)
	- 0.38%/°C
	- 0.31%/°C
	0.05%/°C

	-40~+85°C
	1500V DC (IEC)
	1500V DC (UL)
	20A